



下大和田谷津田だより



2006年 4月号

第74回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

3月5日 晴れ

ウグイスのさえずりが谷津に響いていました。2月はオオイヌノフグリだけだった開花植物も8種類に増えました。田んぼのニホンアカガエルの卵もほとんどが孵ってオタマジャクシになっていました。メダカも姿を現し、田んぼの中にはミジンコや微小な生き物がたくさんうごめいていました。広場にはツクシが出ていて、ツクシの胞子を顕微鏡で見ました。少し息を吹きかけると胞子の足のようものが伸びたり、縮んだり踊っているように見えました。ナナホシテントウやルリタテハなども暖かさに誘われて出てきました。

春本番間近の谷津でした。

開花植物：セイヨウタンポポ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヘビイチゴ、ナズナ、タネツケバナ、コハコベ、ノミノフスマ。

野鳥：セグロセキレイ、ヒヨドリ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、カシラダカ、アオジ、カケス、ハシブトガラス。観察時間外で コジュケイ、コゲラ、モズ、ベニマシコ

昆虫：ナナホシテントウ、ホソヒラタアブ、アリsp、ルリタテハ。

その他：ニホンアカガエル、同オタマジャクシ、アメリカザリガニの子(8mmくらい)、メダカ、マシジミ、マルタニシ。アシナガゲモ、クモ不詳多、ウサギの糞。

(参加者：大人10人、子供2人；報告：網代春男)

第58回谷津田プレラント・プロジェクト(YPP)

「味わおう！春の谷津田」

3月21日 晴れ

暖かく風も穏やかな、とても春らしい一日でした。午前中は谷津をゆっくりまわりながら、野草を摘みました。おとなも子どもも夢中になって大小のノビルを小枝を使って掘ったり、よもぎをかごいっぱいにとったり。冬の間倒伏したセイタカアワダチソウはよく乾燥していて、上を歩くとぱきぱきと小気味のいい音をたてました。小川ではシジミもとれました。澄んだ穏やかな流れはとても気持ちよかったです。裸足になって楽しんでる子もいましたよ。お昼には摘んだ野草の天ぷらや、よもぎ団子、シジミのお味噌汁をいただきました。どれも大人気で、春の味をみんなで楽しみました。天ぷらはつくしやギンギシ、ふきのとうに加え、完熟直前のぶどうのようなちょっとすっぱい味がするスイバもとてもおいしかったです。午後は林で丸太にシイタケの菌を植えつけました。大きくなるのが楽しみです。新しい看板も立ち、先月つけたたくさんの木の名札と一緒に林を盛り立ててくれています。子ども達はぶらんこをこいだり、木に登ったりと元気に林の中で楽しんでいました。田んぼではおたまじゃくしがまた少し大きくなっていました。水面には緑も広がり始め、冬の眠りから目がさめたようすでした。また今年もたくさんのおいしいお米がとれるといいですね。

(参加者：大人35人 小学生5人 幼児4人、報告：かなやひでとし)

下大和田季節のたより

3月11日 休耕田のヤナギが一斉に開花。ウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、ホオジロなど、鳥たちがあちこちでさえずっていた。(高山)

3月15日 田んぼの泥の中にケラを発見。元気に土の中に潜っていた。(かなや)

3月21日 水路にメダカが元気よく泳ぎ、アカガエルのオタマジャクシはそれらしい形に大きく成長。ツチイナゴやキタテハの姿も。(平沼)

3月22日 三寒四温の「温」の日。とても暖かく、上着なしでウグイスの元気な声を背中で聞きながら野良仕事。(かなや)

3月25日 メダカがたくさん出ていてメダカの学校の風情だが、ニホンアカガエルのオタマジャクシは少なくなっていてどうしたのか不思議に思った。(網代)

3月27日 オタマジャクシは2~3cmくらいになっていた。畦ではツククサが満開。(かなや)

3月29日 三寒四温の「寒」の日...でも昼頃には暖かくなり、田んぼの泥の中には元気なミズもたくさん。畦の補修で掘った溝にもぐらの新しい穴を三つ発見。(かなや)

今まさに春爛漫。お米作りの作業がはじまった谷津田ではアカガエルやヒキガエルのオタマジャクシが泳ぎ、さまざまな花に彩られた畦の土の中からシュレーゲルアオガエルの軽快な鳴き声が聞こえてきます。田んぼの水の中をじっとのぞき込んでみると小さな命がいっぱい！ちょっと散歩するだけで元気いっぱいになる春の谷津田にぜひお出かけ下さい。

高山邦明